

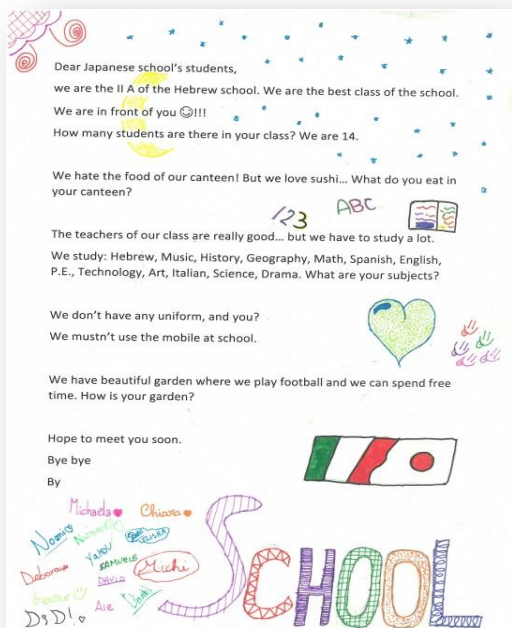


中学部が、イスラエル人学校の中学生に お手紙を書きました！



イスラエル人学校の中学生14人から、ミラノ日本人学校中学部にお手紙をいただきました。お向かいの学校なのに、お互いのことを本当に何も知らないのです。イスラエル人の中学生からは、「制服はあるの?」「お昼ごはんには何を食べるの?」「どんな教科を勉強するの?」などの質問が書いてありました。それぞれの質問に答えた上で、各自2~3問の質問を自由に書いてもらいます。「どのサッカーチームが好き?」「修学旅行はあるの?」「どんな服が流行っているの?」と、中学生らしい数々の質問が見受けられました。

印象的だったのが、イスラエル人学校の中学生が最後に書いていた“Hope to meet you soon.”という挨拶程度の文を見て、子供達が「本当にこの人たちと会うんですか?」と尋ねてきました。「今のところ、会う予定はないよ。」と答えたのですが、完成した手紙を読むと、ほぼ全員が最後に“**We want to meet you.**” “**Hope to meet you, too.**”と書いています。深い意味はないのかもしれませんが、会う予定はないのに、気軽に「会いたいね。」と互いに言い合える彼らに、なんだか胸が熱くなりました。こういう無邪気な心が、世界平和への第一歩のような気がします。一枚一枚の手紙を読みながら「こういう心をずっと忘れないでほしい。」と、願わずにいられません。



←イスラエル人学校からの手紙。
授業には、ヘブライ語や演劇があるようです。



↓中学生が書いた手紙。折り紙、イラスト、俳句など、短時間で素敵な手紙が準備できました。

→イスラエル人学校の英語の先生が、皆の手紙と折り紙を見て、感謝されていました。

